作成年月日	平成 31 年 3 月 11 日
作成部局課室名	企画県民部広聴課

第4回県民モニターアンケート「防災に対する意識と取り組み」の調査結果

第4回県民モニターアンケート調査「防災に対する意識と取り組み」の調査結果をとりま とめました。

アンケート結果は、防災・減災対策の推進や防災力強化県民運動の展開に活用します。

1 調査概要

(1) 調査対象者:県民モニター2,503人

(2) 調査期間:平成31年1月11日(金)

~ 1月25日(金)[15日間]

(3) 調査方法: 県ホームページ上のアンケートフォームに入力

(4) 回答者数:1,804人(回答率72.1%)

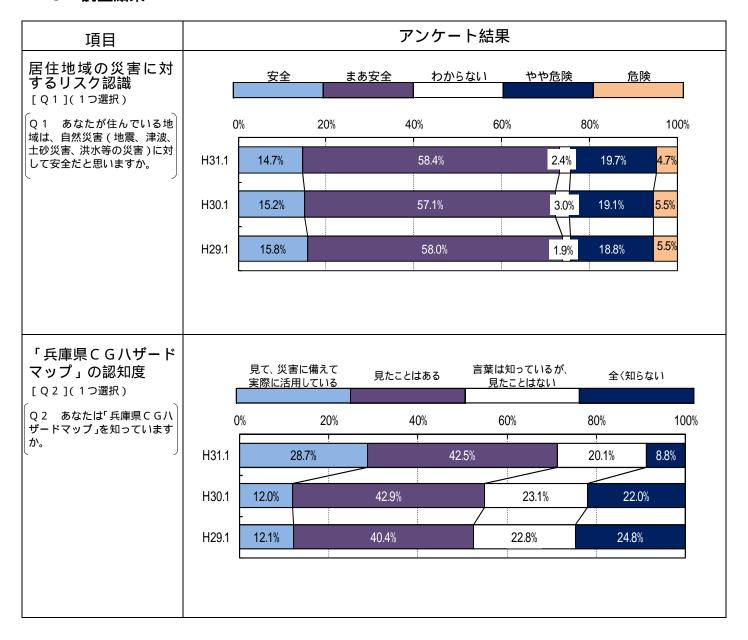
<参考-対象者及び回答者属性>

<i>></i>					
		対象者	回答者	回答率	
総数		2,503	1,804	72.1%	
性	男性	1,189	895	75.3%	
別	女 性	1,314	909	69.2%	
4	10~20代	150	72	48.0%	
	30 代	304	181	59.5%	
年代	40 代	520	337	64.8%	
別	50 代	500	391	78.2%	
נת	60代	517	418	80.9%	
	70 代以上	512	405	79.1%	

2 調査結果の概要

項目
するリスク認識 [Q1] 人と「まあ安全(58.4%)」だと思う人は、合わせて 73.1%となった。 県 C G ハザードマッ 県 C G ハザードマップを「見て、災害に備えて実際に活用してい プの認知度 [Q2] る」人は、前回より 16.7 ポイント増加し、28.7%となった。 防災情報の入手方法 「テレビ(72.1%)」が最も多く、次いで「Yahoo 等のポータルサ
県 C G ハザードマッ 県 C G ハザードマップを「見て、災害に備えて実際に活用してい プの認知度 [02] る」人は、前回より 16.7 ポイント増加し、28.7%となった。 防災情報の入手方法 「テレビ(72.1%)」が最も多く、次いで「Yahoo 等のポータルサ [03] イト(45.8%)」、「ひょうご防災ネット(36.3%)」が多い。 避難情報の発令状況 この 1 年以内に住んでいる地域に避難情報が「発令された」のは と発令時の行動 34.8%であった。「発令された」と答えた人のうち「避難行動をとっ
プの認知度 [02] る」人は、前回より 16.7 ポイント増加し、28.7%となった。 防災情報の入手方法 「テレビ(72.1%)」が最も多く、次いで「Yahoo 等のポータルサ [03] イト(45.8%)」、「ひょうご防災ネット(36.3%)」が多い。 避難情報の発令状況 この 1 年以内に住んでいる地域に避難情報が「発令された」のは 2発令時の行動 34.8%であった。「発令された」と答えた人のうち「避難行動をとっ
防災情報の入手方法 「テレビ(72.1%)」が最も多く、次いで「Yahoo 等のポータルサー [Q3] イト(45.8%)」、「ひょうご防災ネット(36.3%)」が多い。 避難情報の発令状況 この1年以内に住んでいる地域に避難情報が「発令された」のはと発令時の行動 34.8%であった。「発令された」と答えた人のうち「避難行動をとっ
[Q3] イト(45.8%)」、「ひょうご防災ネット(36.3%)」が多い。 避難情報の発令状況 この1年以内に住んでいる地域に避難情報が「発令された」のは と発令時の行動 34.8%であった。「発令された」と答えた人のうち「避難行動をとっ
避難情報の発令状況 この1年以内に住んでいる地域に避難情報が「発令された」のは と発令時の行動 34.8%であった。「発令された」と答えた人のうち「避難行動をとっ
と発令時の行動 34.8%であった。「発令された」と答えた人のうち「避難行動をとっ
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
「避難行動をとった」人の避難行動の内容は「屋内の安全な部屋
│
「避難するより自宅にいる方が安全と思ったから」が最も多い。
災害に備えた家族で 災害に備え、普段から家族で話し合っていることについて、「地
の話合い [Q7]│域の避難場所・経路の確認(58.8%)」が最も多く、次いで「非常用
食料等の保管場所、使用方法(46.2%)」、「災害時の安否確認方法・
連絡方法(39.5%)」が多い。
│望ましい避難情報提│ 「緊急速報メール[エリアメール](62.7%)」と「テレビ(62.0%)」が
供手段 [ℚ9] │6割台で上位を占め、前回4番目であった「インターネット[ホーム
ページ](51.3%)」が3番目となった。
災害への備え 災害への備えとして「飲料水や食料品の備蓄」をしている人は
│ □ □ [Q11、Q12] 72.5%、「家具等の固定」をしている人は 47.1%、「携帯トイレ又は
凝固剤の備蓄」をしている人は 28.8%であった。
飲料水や食料品の備蓄量について、「1日~2日」と答えた人は、
飲料水で 46.7%、食料品で 46.1%、「3日」と答えた人は、飲料水で
31.9%、食料品で33.6%であった。
防災訓練への参加 この1年以内に防災訓練へ「参加したことがある」のは22.5%、「参
│(最近1年以内) 加したことはないが、機会があれば参加したい」は51.5%となった。
[Q13、Q14] │ 参加したことがない理由は「仕事や他の用事があったから」が
58.0%で最も多い。

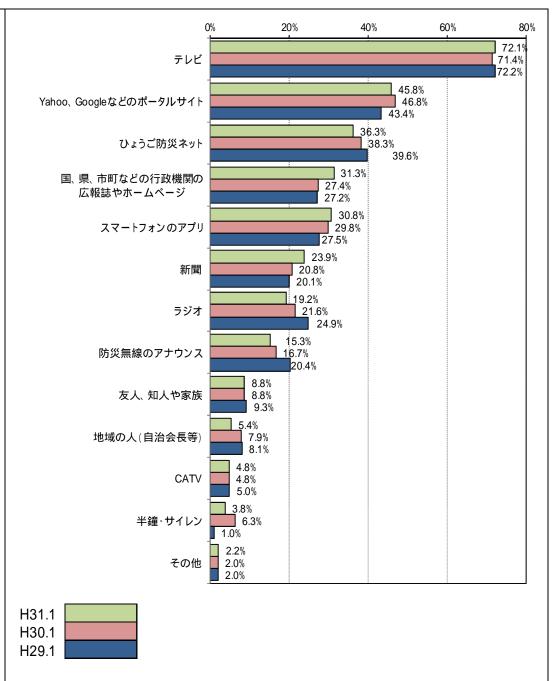
3 調査結果



防災情報の入手方法

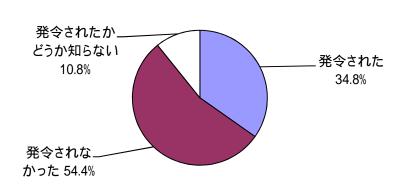
[Q3](いくつでも選択)

Q3 あなたは、気象情報やハザードマップなどの防災に関する情報を平常時や台風の接近など危険が近づきつつある時にどちらから入手されていますか。



避難情報の発令状況 [Q4](1つ選択)

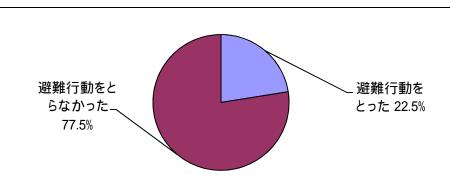
Q4 あなたが住んでいる地域に、この1年以内に市町から災害時の避難情報(「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示(緊急)」)が発令されましたか。



避難情報発令時の行動[Q5](1つ選択)

[Q4]で、「発令された」 と回答した人(627名)に質問。

Q5 前問で、「発令された」 と回答された方にお伺いしま す。災害時の避難情報が発令さ れた際に避難行動をとりまし たか。



【参考】

[避難行動をとった人の、避難行動の内容(63件)のうち、主なもの]

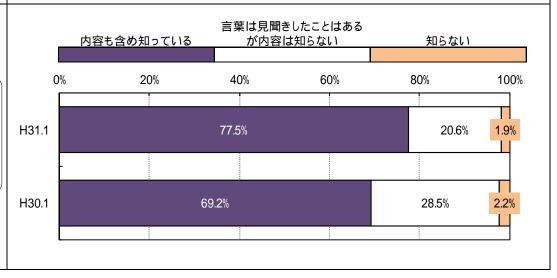
- ・安全な部屋への避難(屋内安全確保)(38件)
- ・避難所や親戚の家などへの避難 (8件)

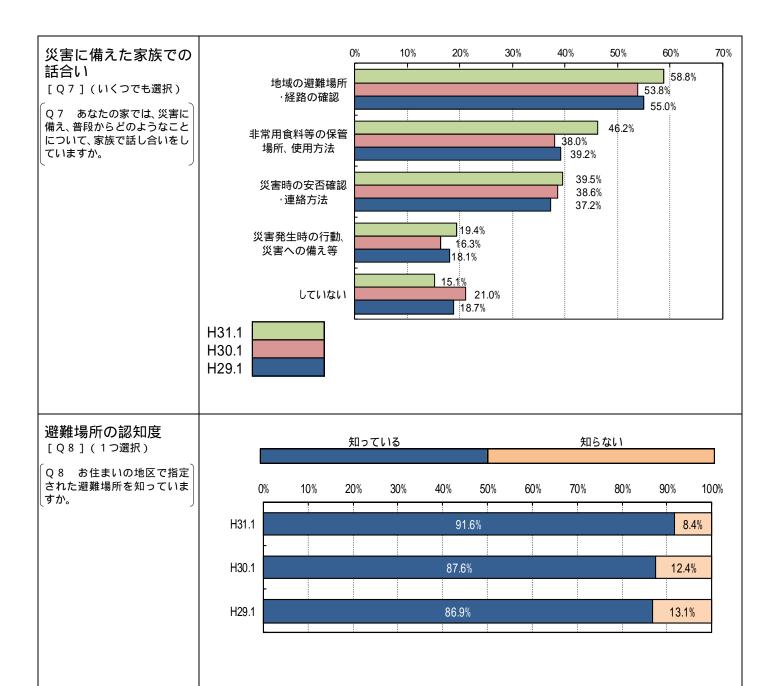
[避難行動をとらなかった理由(447件)のうち、主なもの]

- ・避難するより自宅にいる方が安全だと思った(145件)
- ・様子をみて大丈夫だと思った、避難するほどではないと思った(115件)

「J アラート」の認知 度 [Q 6](1 つ選択)

Q6 弾道ミサイル情報、緊急 地震速報、津波警報などを携帯 電話・スマートフォンなどでお 知らせする「Jアラート(全国 瞬時警報システム)」について ご存じですか。

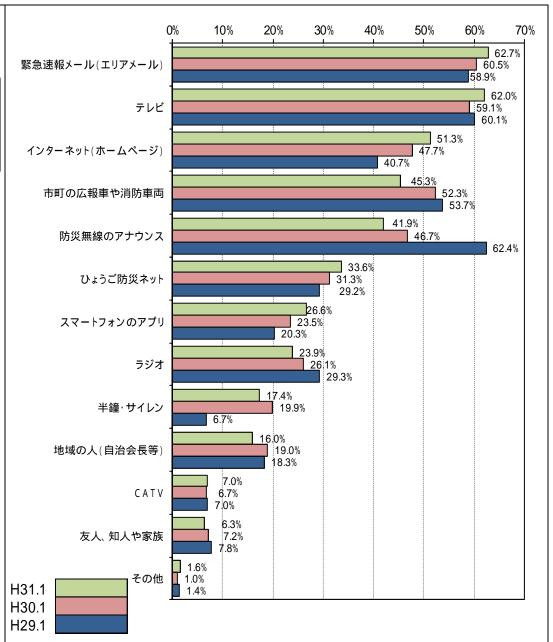




望ましい避難情報提供 手段

[Q9](いくつでも選択)

Q9 あなたは、災害時の避難情報(「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示(緊急)」)について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。あてはまるものをお選びください。

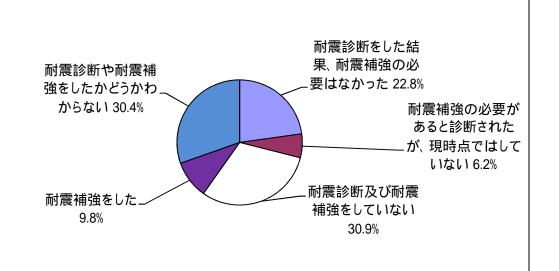


耐震診断・耐震補強の 実施状況

[Q10](1つ選択)

住んでいる戸建て住宅・マンション等(木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅にかかわらず。賃貸除く。)が、昭和56年以前に建築された人(632人)が回答。

Q10 あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。

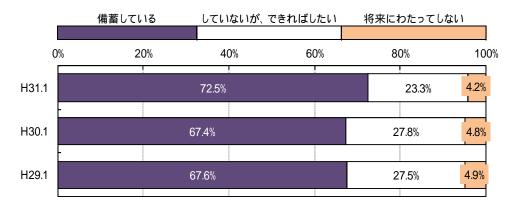


災害への備え

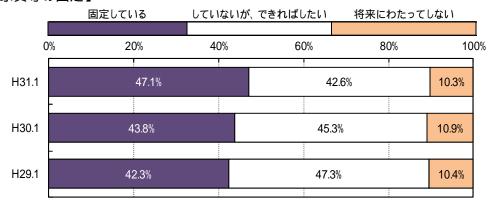
[Q11](それぞれ1つ選択)

Q 1 1 あなたが災害に備えてしていること、現時点ではしていないが、できればしたいと思っていることについて、あてはまるものを次の中からお選びください。

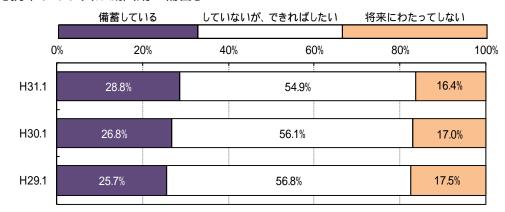
【飲料水や食料品の備蓄】



【家具等の固定】



【携帯トイレ又は凝固剤の備蓄】



飲料水や食料品の備蓄

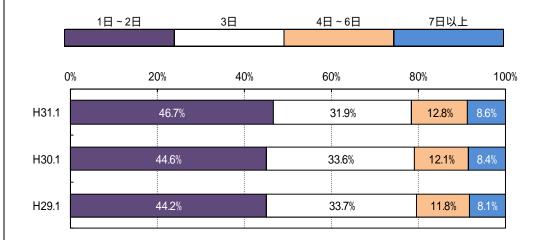
[Q12](それぞれ1つ選択)

[Q 1 1]で「飲料水や食料品の備蓄をしている」と答えた人(1,308 名)に質問

Q12 家庭での備蓄は何日 分ですか。(【飲料水】と【食料 品】それぞれ一つずつ)

1日分は、飲料水では一人 3リットル、食料品では3食分 を目安に、それぞれ家族全員で 何日分備蓄があるかお答えく ださい。

【飲料水】



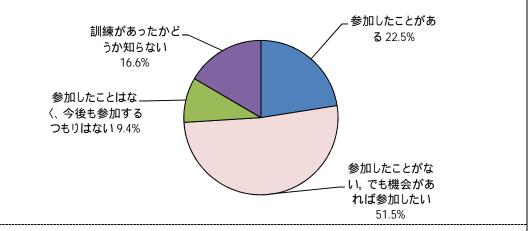
【食料品】



防災訓練への参加 (最近1年以内)

[Q13]

Q13 あなたは、この1年の間に県や市町、自治会などが行った自然災害に対する防災訓練に参加したことがありますか。

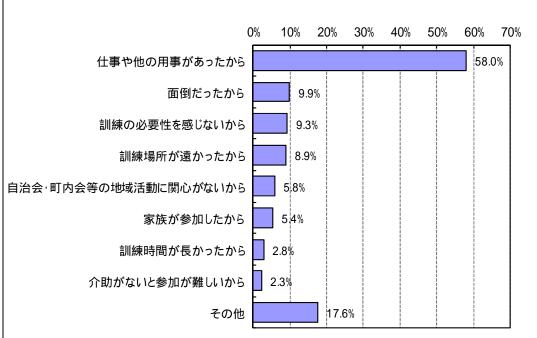


参加したことがない 理由

[Q14](いくつでも選択)

[Q13]で「参加したことがない。でも機会があれば参加したい」「参加したことがない。今後も参加するつもりはない」と答えた人(1,099名)に質問

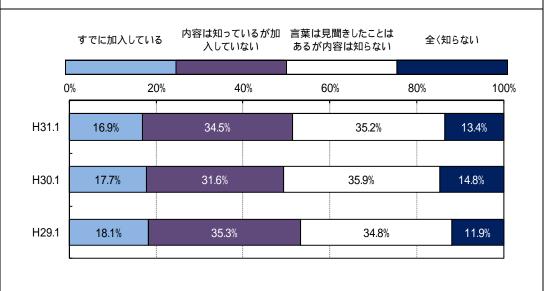
Q14 前問で「参加したことがない。」と回答された方にお伺いします。あなたが訓練に参加しなかった理由はどれですか。

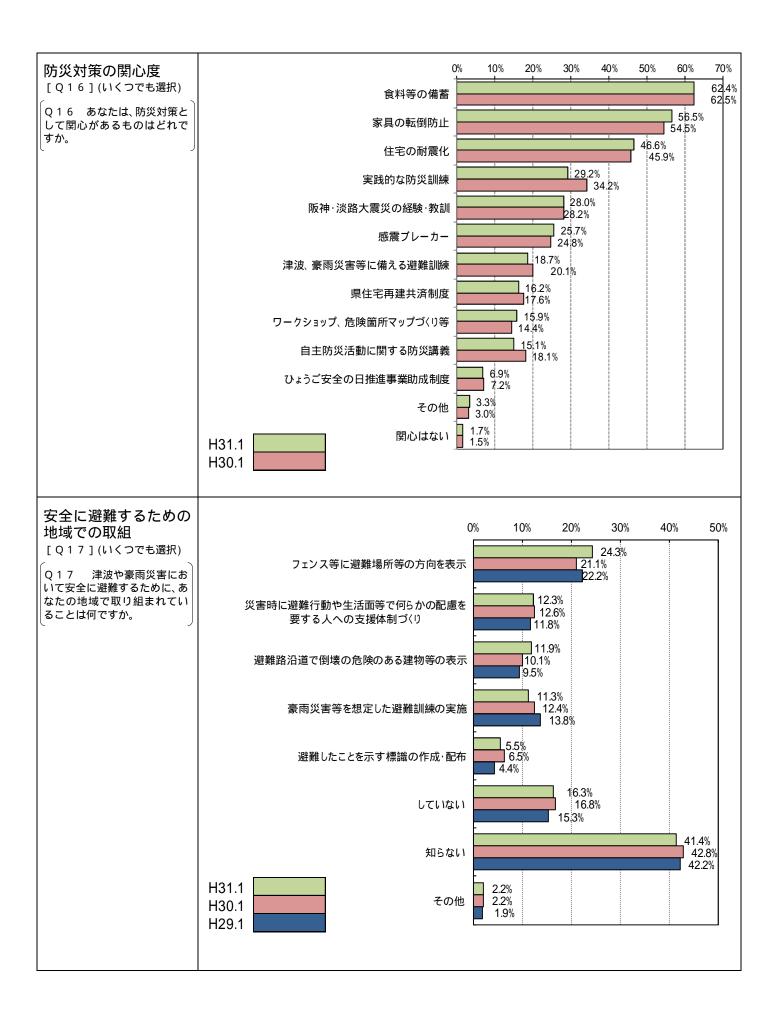


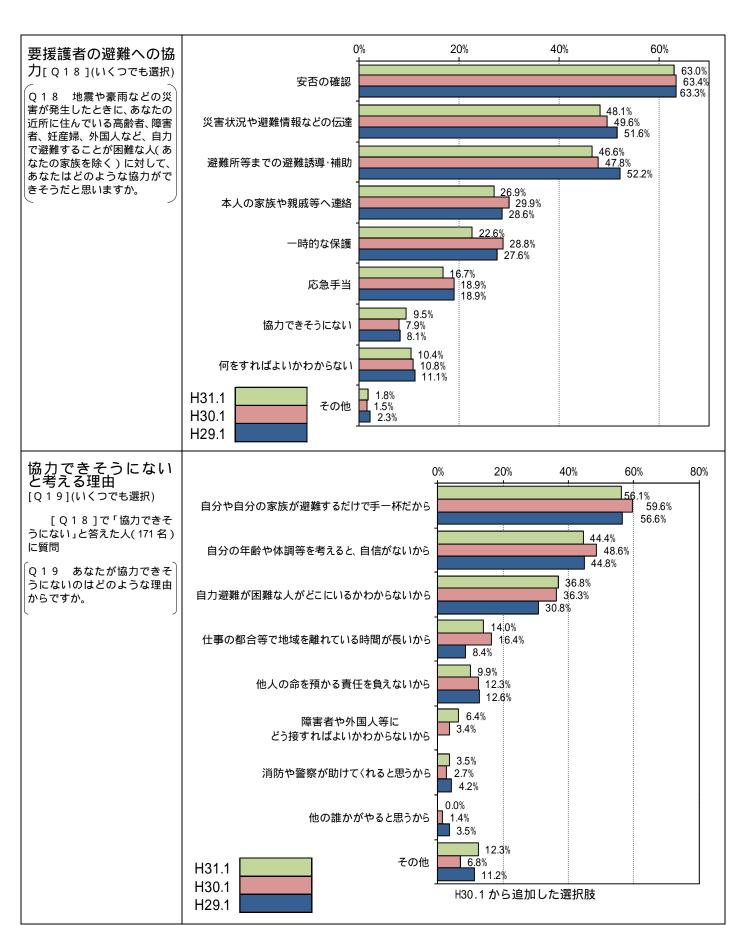
兵庫県住宅再建共済制 度の認知度

[Q15](1つ選択)

Q15 あなたは、兵庫県住宅 再建共済制度(フェニックス共済)を知っていますか。







【 問い合わせ先 】 企画県民部広聴課 (TEL078-362-3021)

(参考)平成30年度県民モニター調査実績

平成 30 年度調査実績

回	調査テーマ	調査期間	回答率
第1回	カムバックひょうごの取組	5月28日~6月11日	78.3%
第2回	地域安全まちづくりの推進について	7月30日~8月13日	74.5%
第3回	猫を取り巻く現状と課題について	11月26日~12月10日	74.4%
第4回	防災に対する意識と取り組み	1月11日~1月25日	72.1%

対象者及び回答者属性別実績

区分		第1回	第2回	第3回	第4回	4 回とも回答 した人数	
総数		対象者(人)	2,289	2,331	2,489	2,503	
		回答者(人)	1,793	1,736	1,851	1,804	1,313
		回答率	78.3%	74.5%	74.4%	72.1%	
性	男性	対象者(人)	1,113	1,128	1,185	1,189	
		回答者(人)	912	876	905	895	695
		回答率	81.9%	77.7%	76.4%	75.3%	
性 別		対象者(人)	1,176	1,203	1,304	1,314	
	女性	回答者(人)	881	860	946	909	618
		回答率	74.9%	71.5%	72.5%	69.2%	
		対象者(人)	121	125	146	150	34
	10~20代	回答者(人)	66	58	73	72	
		回答率	54.5%	46.4%	50.0%	48.0%	
	30代	対象者(人)	264	269	299	304	113
		回答者(人)	181	173	193	181	
		回答率	68.6%	64.3%	64.5%	59.5%	
	40 代	対象者(人)	462	473	516	520	225
—		回答者(人)	344	330	358	337	
生		回答率	74.5%	69.8%	69.4%	64.8%	
年代別	50 代	対象者(人)	453	464	499	500	272
נימ		回答者(人)	358	355	387	391	
		回答率	79.0%	76.5%	77.6%	78.2%	
	60代	対象者(人)	485	494	517	517	
		回答者(人)	420	410	431	418	340
		回答率	86.6%	83.0%	83.4%	80.9%	
	70 代以上	対象者(人)	504	506	512	512	
		回答者(人)	424	410	409	405	329
		回答率	84.1%	81.0%	79.9%	79.1%	

過去3年の実績

年度	回	調査テーマ	回答率
H29	第1回	ひょうごの医療と介護	78.2%
	第2回	兵庫県の広報活動	74.0%
	第3回	受動喫煙対策について	75.4%
	第4回	防災に対する意識と取組	71.1%
H28	第1回	食の安全安心について	79.4%
	第2回	地球温暖化対策と総合治水の取組について	71.2%
	第3回	消費生活について	74.8%
	第4回	県民の防災意識及び取組状況	71.0%
H27	第1回	動物愛護に関する意識について	76.6%
	第2回	地域安全まちづくりの推進について	70.6%
	第3回	認知症対策ついて	70.4%
	第4回	県民の防災意識及び取組状況	66.0%